

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2026年7月31日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

NICTとGREEN×EXPO協会におけるサイバー攻撃の 観測及び対処に関する協定の締結について

GREEN×EXPO協会（正式名称:公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会、会長：筒井義信、所在地：横浜市中区）は、2026年7月30日（木）、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）と2027年国際園芸博覧会におけるサイバー攻撃の観測及び対処に関する連携・協力体制の確立のための連携協定を締結しました。

GREEN×EXPO 2027は、国際園芸家協会（AIPH）の承認および博覧会国際事務局（BIE）の認定を受けた最上位（A1クラス）の国際的イベントで、有料来場者数1,000万人規模となります。情報通信分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関であるNICTの協力を得ることで、2027年国際園芸博覧会におけるサイバーセキュリティ対策を推進し、安全・安心な開催に取り組んでまいります。

【各者コメント】

■公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務総長 河村 正人

2027年国際園芸博覧会は国家的な大規模イベントであり、それを成功させるためには、サイバー空間の安全・安心を確保することが重要な課題と考えています。特に最近のサイバー攻撃の状況を踏まえれば、情報通信分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関である国立研究開発法人情報通信研究機構の協力を得られたことは大変心強いことです。安心して来場いただけるようにサイバーセキュリティ対策に取り組んでまいります。

■国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所長 井上 大介

2027年国際園芸博覧会は、多くの来場者や関係者が参加する国際的なイベントであり、その安全・安心な運営にはサイバーセキュリティの確保が不可欠です。NICTは、長年にわたり研究開発・運用してきた大規模サイバー攻撃観測基盤や脅威分析技術を活用し、博覧会協会との連携を通じてサイバー攻撃の早期把握と迅速な対応を支援するとともに、2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の安全な開催に貢献してまいります。

■ 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所

NICT は、情報通信分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関です。

サイバーセキュリティ研究所では、サイバー攻撃の観測・分析、防御技術、脅威インテリジェンスなどに関する研究開発を推進しています。当研究所が研究開発・運用する大規模サイバー攻撃観測基盤「NICTER」や各種観測・分析基盤を活用し、国内外のサイバー脅威の実態把握や早期検知に取り組むとともに、研究成果の社会実装を通じて我が国のサイバーセキュリティの向上に貢献しています。また、これまでに、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC、現・国家サイバー統括室（NCO））と連携した東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や、政府関係機関と連携した2025年大阪・関西万博におけるサイバー攻撃の観測・分析を実施するなど、大規模国際イベントの安全・安心な運営を技術面から支援してきました。

<https://www.nict.go.jp/>

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエキスポニーゼロナナ)
開 催 場 所	横浜市瀬谷区・旭区 (旧上瀬谷通信施設)
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～ 2027年9月26日(日) 192日間
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位) クラス(AIPH承認+BIE認定)
有料来場者数	1,000万人以上
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トウキントウキ」